

新年の ごあいさつ

あけましておめでとうございます。

輝かしい新年を、ご家族お揃いで迎えのことと存じます。

一昨年に引き続き、昨年も全国各地で、台風や豪雨による多数の犠牲者や、農作物や人家などへの甚大な被害が発生しました。犠牲になられた方々や被害を受けられた方々に衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

本町では、大きな被害を及ぼした自然災害は発生しておりませんが、一昨年から発生している、さつまいもの「つる枯れ病」や「基腐れ病」の被害が拡大してきております。また、イノシシを媒介して発生している「CSF（豚コレラ）」の被害に対する脅威も増してきております。さらに、暖冬などの影響により、春バレイシヨなど農作物の価格が低迷するなど、野菜価格なども厳しい状態が続いて

着手いたします。畜産系（鶏糞、牛糞）バイオマスや小水力、フィット終了後の太陽光発電など、町内にある利用可能な再生エネルギー源を活用して、将来的にはすべてのエネルギーの地産地消を目指していききたいと思います。化石エネルギー依存から脱却し、環境に優しい自然エネルギーへの転換を図り、環境に配慮した持続可能なまちづくりを進めてまいります。

大隅半島、特に先端地域に住む私たちにとっては、地理的ハンディを克服するために、道路網の整備が不可欠であります。観光や農林水産業などの産業振興はもとより、緊急時の輸送路の確保として、県道の整備拡充は欠かせないことでもあります。大隅縦貫道の整備促進につきます。広域的な取り組みを強化していきたいと思えます。

懸案事項であります肝属郡医師会立病院につきましては、移設建替えを前提に、規模や財源等について検討を深めてまいりますと思えます。

本町にとって、最大の懸案事項であります人口減少につきましては、種々取り組みをしております。昨年は、地域おこし協力隊の活動により、空き家をリノベーションしたゲストハウス（宿泊のみ）

ております。

畜産業においては、牛や豚、鶏それぞれ価格も安定しており、なかでも肉用牛においては、セリ価格も高値で安定していることから、新規就農者や経営規模を拡大する農家も増えてきております。

本町の基幹産業でもあります農業の経営を安定させるために、一昨年からは、インディンダ事業に取り組んでおります。それぞれの事業者（加工業者を含め）が目指すべき経営方針や将来に対する経営規模などを定め、その実現のためにどのように進めていくか、自社製品のブランド化をどのように高めていくかなどに取り組んでいきます。

また、昨年からの取り組んでおります木質バイオマス発電事業につきましても、発電時に発生する排熱を、農業用施設の熱源として利用するための実証実験にも

の設置や、住居併設のサテライトオフィスの設置も手掛けてまいりました。

今後は観光と仕事を同時に行うワーケーションという新たな働き方に対応できる施設整備を図りながら、関係人口、企業誘致活動に引き続き取り組んでまいりたいと思えます。

また、空き家バンク登録が進まないことから、空き家の有効活用を強力に進め、転出者の抑止や移住者誘致の促進を図りたいと思えます。

今年一年が、町民の皆さまにとって良い年でありますように祈念いたします。

令和元年度の主な取り組み

- ・ 高速通信網整備（池田地区）
- ・ 小中学校空調整備
- ・ 総合交流センター完成
- ・ 木質バイオマス発電完成（令和2年1月）
- ・ 再生可能エネルギー導入
- ・ マスタープラン策定
- ・ 星空レストラン in 花瀬
- ・ 錦江町特産品ブランド化事業
- ・ 空き家リノベーション
- ・ 水産業強化支援事業（養殖いけす）
- ・ 防犯カメラ設置
- ・ 錦江町MIRAI寺子屋塾



錦江町長
木場 一昭

照葉樹の森ビジターセンターから望む錦江町

錦江湾や桜島、開聞岳が一望できる照葉樹の森。特に湿度が低く水蒸気の少ない冬は空気が澄んで綺麗に見ることができます。